

想定所要時間 **50**分

Internet Week 2024 / C7
10:00~11:30



2024年のメール運用と DMARC (前半)

2024/11/26(火)

株式会社インターネットイニシアティブ (IIJ)
ネットワーク本部 アプリケーションサービス部 メールサービス運営課
課長 古賀 勇

Ongoing Innovation

自己紹介



古賀 勇 (Isamu Koga)

株式会社インターネットイニシアティブ (IIJ)
ネットワーク本部 アプリケーションサービス部
メールサービス運営課・課長

Power Automate エバンジェリスト (自称) 「自動化は正義」

法人系メールセキュリティサービスの運用

SecureMX

ウイルス対策

迷惑メール対策

Sandbox

送信ドメイン認証

顧客サポート

執筆活動・公演活動・エンジニアブログ・技報

WIDE
PROJECT
WIDE Project

M³AAWG
MESSAGING MALWARE MOBILE
ANTI-ABUSE WORKING GROUP
M3AAWG

openSUSE

openSUSE (趣味)

本題に入る前に

アイスブレイク



電子メールのプロトコルができたのはいつ?



- RFC9000 QUIC: A UDP-Based Multiplexed and Secure Transport

<https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc9000>

電子メールのプロトコルができたのはいつ?

2021年



- **RFC9000 QUIC: A UDP-Based Multiplexed and Secure Transport**

<https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc9000>

Windows 11

電子メールのプロトコルができたのはいつ?

2015年

- **RFC7540 Hypertext Transfer Protocol Version 2 (HTTP/2)**

<https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc7540>

Windows 10

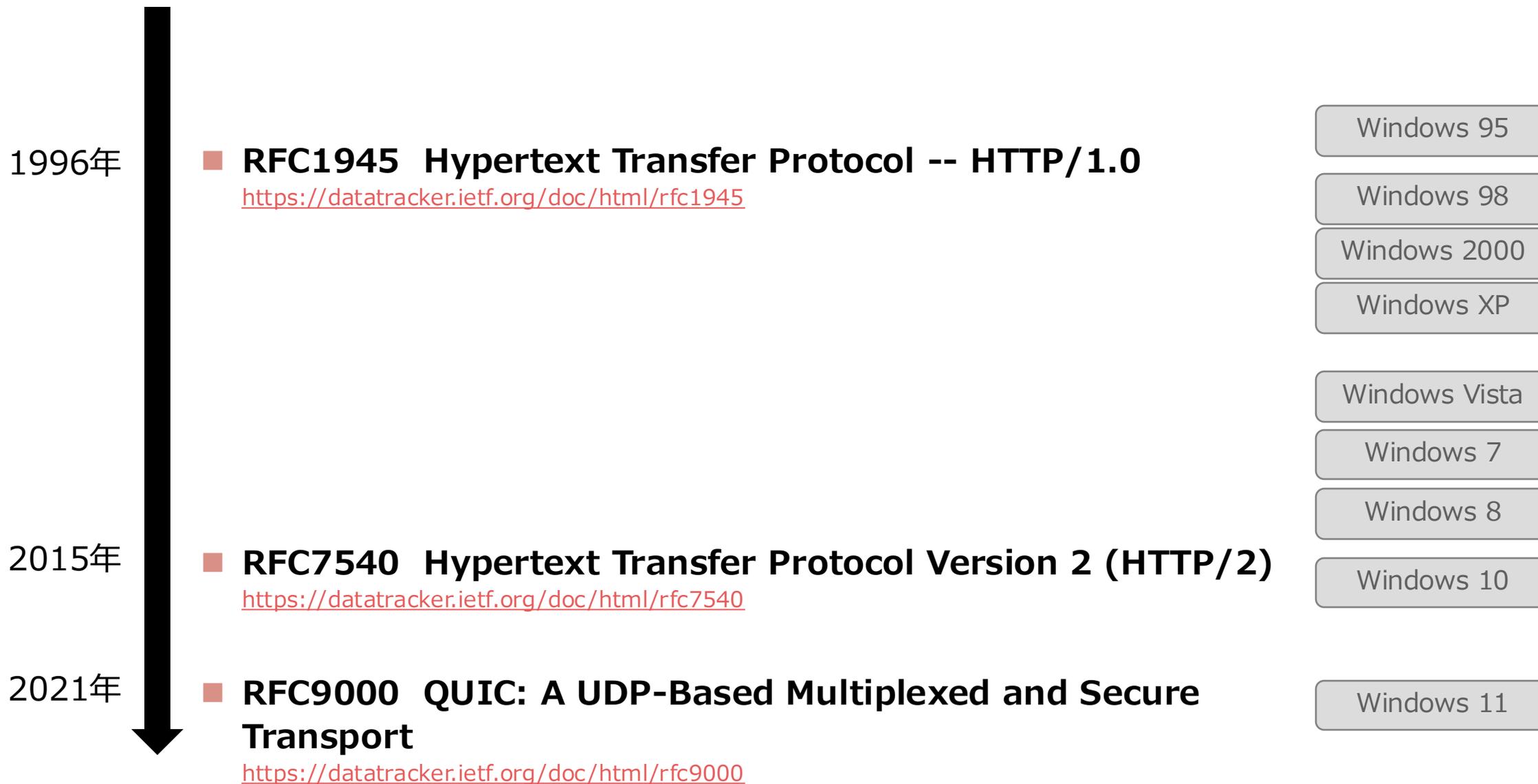
2021年

- **RFC9000 QUIC: A UDP-Based Multiplexed and Secure Transport**

<https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc9000>

Windows 11

電子メールのプロトコルができたのはいつ?



電子メールのプロトコルができたのはいつ?

1982年

■ RFC821 SIMPLE MAIL TRANSFER PROTOCOL

<https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc821>

MS-DOS 1.25

≈

1996年

■ RFC1945 Hypertext Transfer Protocol -- HTTP/1.0

<https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc1945>

Windows 95

Windows 98

Windows 2000

Windows XP

Windows Vista

Windows 7

Windows 8

2015年

■ RFC7540 Hypertext Transfer Protocol Version 2 (HTTP/2)

<https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc7540>

Windows 10

2021年

■ RFC9000 QUIC: A UDP-Based Multiplexed and Secure Transport

<https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc9000>

Windows 11

今日このセッションを聞いて分かること

電子メールはいわゆる "古き良き時代" に作られた牧歌的なプロトコル
「悪」の存在が想定されていなかった

イマドキメールの新常識

大規模事業者の悩み

どうしてこうなったのか

よくある失敗例

今やるべきこと

Google 送信者ガイドライン

Google Sender Guidelines



Google Sender Guidelines
<https://support.google.com/a/answer/81126>

Google Sender Guidelines

2023年 10月、Google + 米 Yahoo! が足並みを揃えてポリシー強化宣言

2023年12月 追加

SPF か DKIM に対応せよ

TLS (暗号化) 通信せよ

逆引きを必ず記載せよ

RFC5322 に準拠せよ

spam 率 0.3% 未満にせよ

@gmail.com を騙るな

転送は ARC 署名せよ



Google Sender Guidelines
<https://support.google.com/a/answer/81126>

Google Sender Guidelines

(5,000通/日 以上送信するドメイン)

2023年 10月、Google + 米 Yahoo! が足並みを揃えてポリシー強化宣言

Google Sender Guidelines

2023年 10月、Google + 米 Yahoo! が足並みを揃えてポリシー強化宣言

SPF か DKIM に対応せよ

逆引きを必ず記載せよ

spam 率 0.3% 未満にせよ

転送は ARC 署名せよ

2023年12月 追加

TLS (暗号化) 通信せよ

RFC5322 に準拠せよ

@gmail.com を騙るな



Google Sender Guidelines
<https://support.google.com/a/answer/81126>

©Internet Initiative Japan Inc.

- 4 -

DMARC対応せよ

- ・ドメイン名のなりすましを禁止
- ・RFC7489 で標準化 (2015年)

+

List-Unsubscribe 実装せよ

- ・ワンクリックで購読解除できる仕組み
- ・RFC8058 で標準化 (2017年)

期限は 2024/01/31 (済)



Google Sender Guidelines
<https://support.google.com/a/answer/81126>

Google 送信者ガイドラインの背景

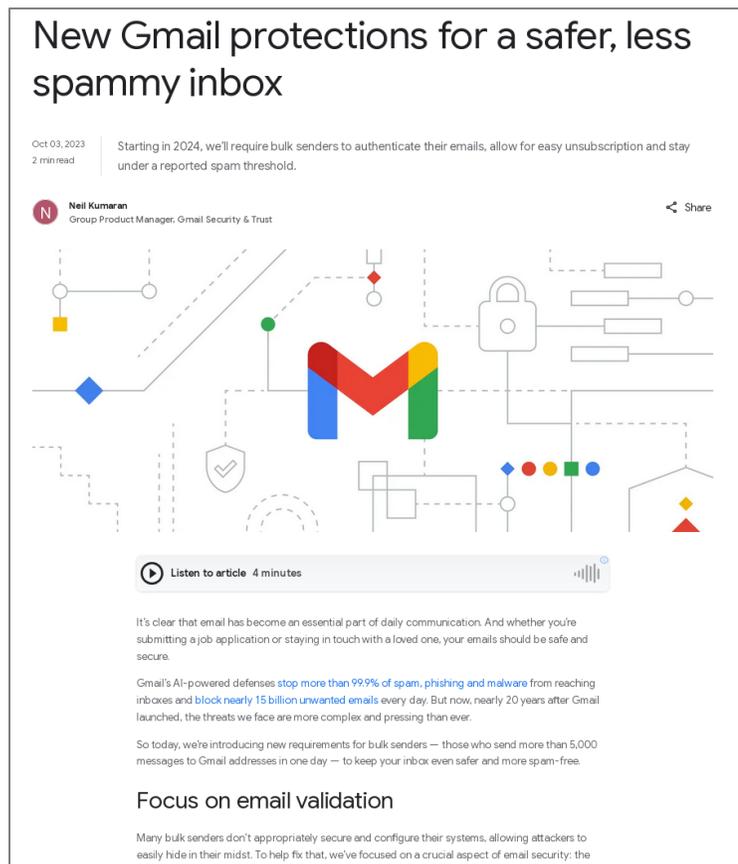
米国では「Yahoo! Requirements」と言われています



Google Sender Guidelines
<https://support.google.com/a/answer/81126>

Google 送信者ガイドラインの背景

フィッシングメールとの熾烈な戦いが激化



- Google は 毎日 **150億通** 以上のメールをブロック
- インターネットには時代遅れなシステムが多数あり 電子メールの全差出人を認証することができていない
- これが攻撃者に付け込まれるスキを与えてしまう

悪を悪と判定することも大事な側面だが
正しいものを正しいと判定することも重要

利用者の保護



Google The Keyword (公式ブログ)

New Gmail protections for a safer, less spammy inbox

<https://blog.google/products/gmail/gmail-security-authentication-spam-protection/>

Google 送信者ガイドラインのスケジュール (済)

Google が当初発表したタイムラインと時系列

2023年 10月

■ ポリシー強化を発表

- 米 Yahoo! も同じ内容で同日に発表
- この時点では Google Workspace も含まれていた

2023年 12月

■ TLS 通信を利用することを要件に追加

- ここで Google Workspace を対象から除外

2024年 2月

■ 送信者ガイドラインの施行

- Google 「迷惑メールフォルダに振り分けられるなど、到達性に悪影響」

2024年 4月

■ 送信者ガイドラインに準拠しないメールを一時的なエラー(4xx)で拒否し始める

- Google 「段階的に行う」

2024年 6月

■ ガイドラインに従ったメールの受信拒否を開始

- Google 「適宜状況を見て判断している」

イマ 

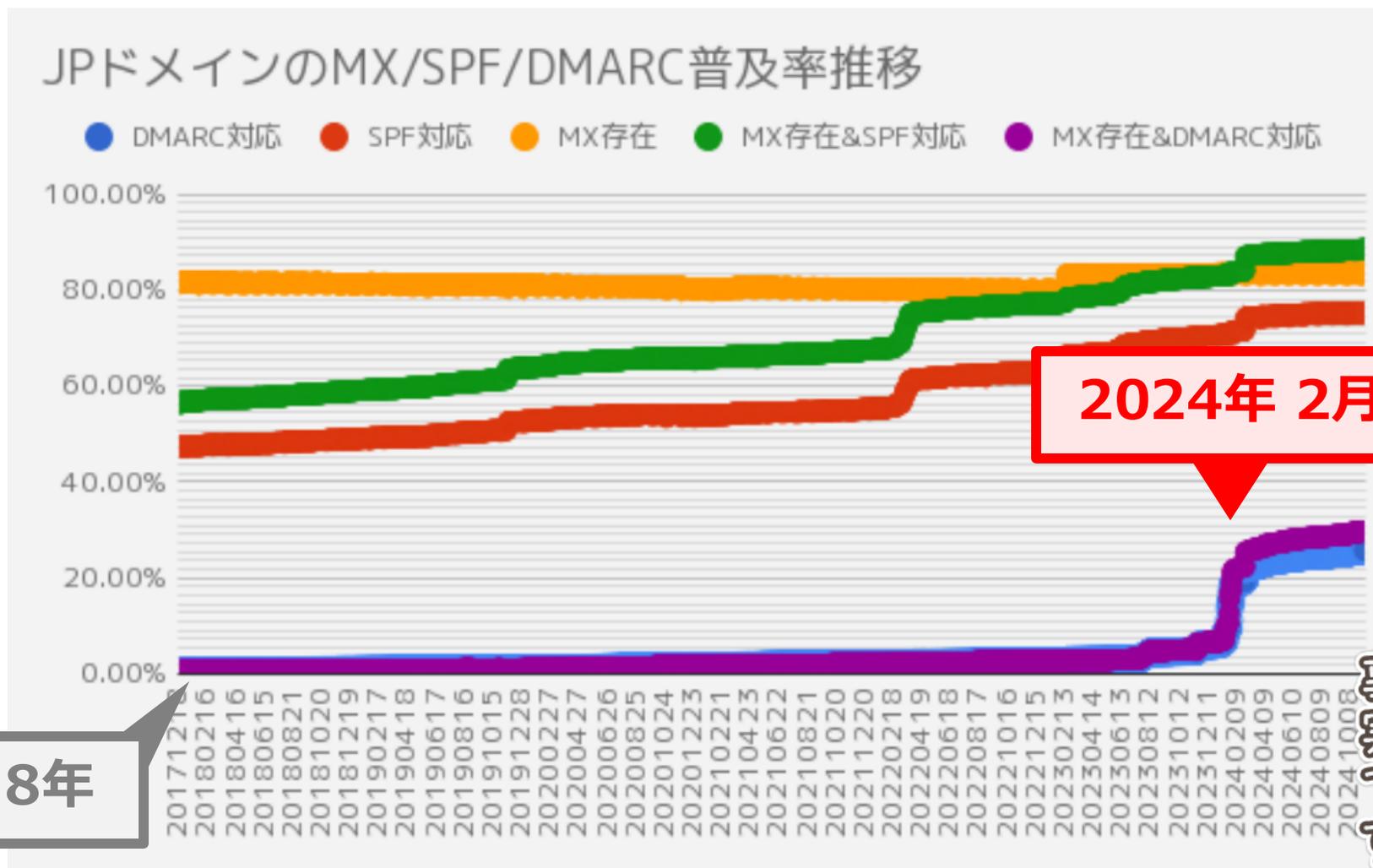


Google 送信者ガイドラインが与えた影響 (効果)

2024年 2月までに急激に DMARC 対応率が増加

DMARC adoption statistics of JP domains

<https://kitazaki.github.io/dmarc/>



2024年 2月

2018年

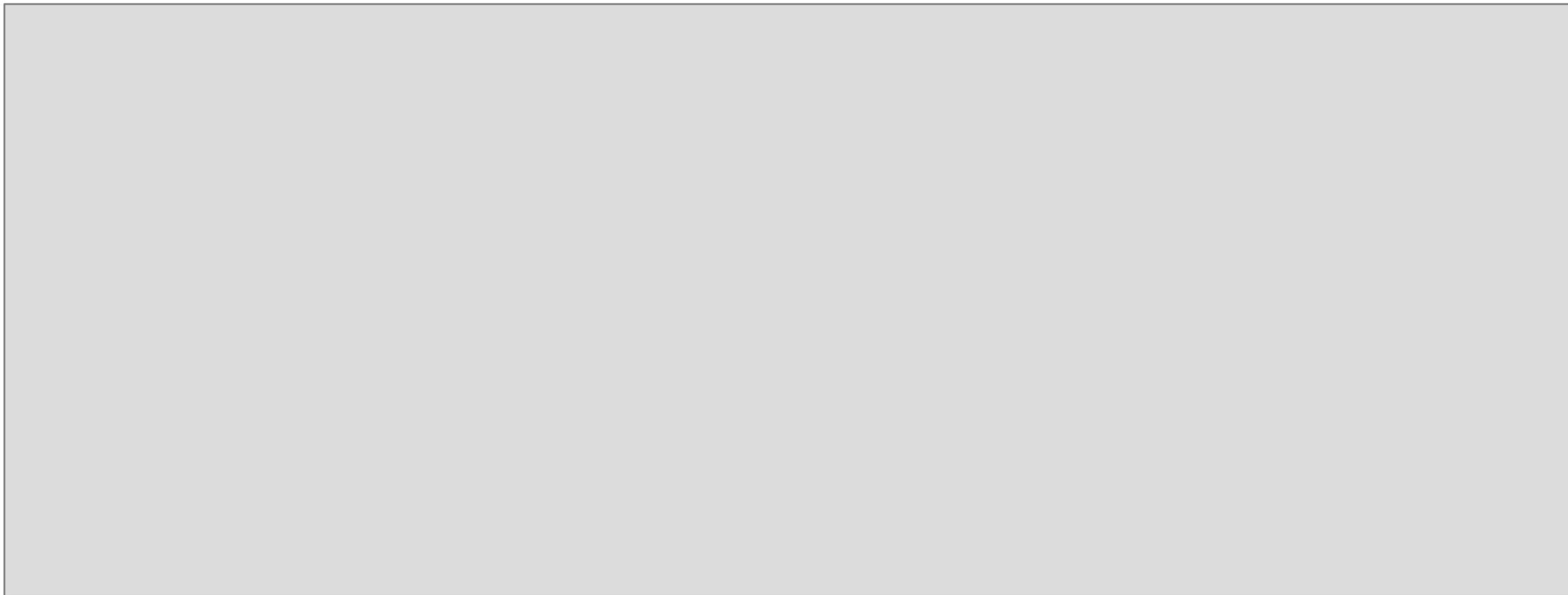


2024年 2月～7月に観測したエラー

IIJ セキュア MX サービスで観測した Google 宛のエラー数



撮影禁止
この場限り





DMARC adoption statistics of JP domains
<https://kitazaki.github.io/dmarc/>



メール運用管理者に求められる対応

立場によって取るべき対応が微妙に異なるのが
メールの難しいところ



(例1) 個人でメールサーバを運用している

原則全部対応する

SPF か DKIM に対応せよ

逆引きを必ず記載せよ

spam 率 0.3% 未満にせよ

転送は ARC 署名せよ

DMARC 対応せよ

TLS (暗号化) 通信せよ

RFC5322 に準拠せよ

@gmail.com を騙るな

List-Unsubscribe 実装せよ

メールマガジン等を送信していないなら不要

|(例2) 企業や組織の IT 担当でオンプレミス設備を保有している

特に送信ドメイン認証(DMARC)は肝になるため SPF の整理や DKIM 対応は必須

SPF か DKIM に対応せよ

TLS (暗号化) 通信せよ

逆引きを必ず記載せよ

RFC5322 に準拠せよ

spam 率 0.3% 未満にせよ

@gmail.com を騙るな

転送は ARC 署名せよ

メールの転送をしていないなら不要

DMARC 対応せよ

5,000通未満の要件に入っていないが実施する

List-Unsubscribe 実装せよ

メールマガジン等を送信していないなら不要

|(例3) メールのクラウドサービスを使っている

多くをクラウドサービス事業者が担ってくれるので対応は比較的容易

SPF か DKIM に対応せよ

クラウドサービスのマニュアルを見て対応する

逆引きを必ず記載せよ

クラウドサービス側で対応すべき

spam 率 0.3% 未満にせよ

転送は ARC 署名せよ

クラウドサービス側で対応すべき

DMARC 対応せよ

クラウドサービスのマニュアルを見て対応する

TLS (暗号化) 通信せよ

クラウドサービス側で対応すべき

RFC5322 に準拠せよ

@gmail.com を騙るな

List-Unsubscribe 実装せよ

メールマガジン等を送信していないなら不要

(例4) オンプレミス設備でメールを大量送信している

メール送信設備を SIer などに発注している場合は必ず要件(RFP)に含める

SPF か DKIM に対応せよ

DKIM の作成者署名が必須

逆引きを必ず記載せよ

spam 率 0.3% 未満にせよ

受信者が望まないメールを送ってはいけない

転送は ARC 署名せよ

ARC はなくてもよい

DMARC 対応せよ

TLS (暗号化) 通信せよ

RFC5322 に準拠せよ

@gmail.com を騙るな

List-Unsubscribe 実装せよ

ワンクリックの購読解除は必須要件

(例5) 広報や人事部など非 IT 部門だが SaaS でメールを送っている

メールマガジンや人事採用 SaaS を利用しているメールは見落としがちなので注意

SPF か DKIM に対応せよ

DKIM の作成者署名が必須

逆引きを必ず記載せよ

SaaS 側で対応すべき

spam 率 0.3% 未満にせよ

受信者が望まないメールを送ってはいけない

転送は ARC 署名せよ

ARC はなくてもよい

DMARC 対応せよ

DKIM のアライメントが一致しないと DMARC pass できないので要注意

TLS (暗号化) 通信せよ

SaaS 側で対応すべき

RFC5322 に準拠せよ

SaaS 側で対応すべき

@gmail.com を騙るな

List-Unsubscribe 実装せよ

ワンクリックの購読解除は必須要件

メール運用管理者に求められる対応 早見表

		SPF か DKIM 対応	逆引き 記載	spam rate <0.3%	転送は ARC 署名	DMARC 対応	TLS 対応	RFC 5322 準拠	@gmail .com 騙るな	List-Unsubscribe
1	個人でメール 設備を運用	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
2	企業でオンプレ 設備を保有	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
3	クラウド サービス利用	✓		✓		✓		✓	✓	
4	オンプレ設備 でメール送信	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓
5	非 IT 部門で SaaS 利用	✓		✓		✓			✓	✓

メールヘッダの読みかた

RFC5322



Google Sender Guidelines
2023年 10月、Google + 米 Yahoo! が足並みを揃えてポリシー強化宣言

2023年12月 追加

- SPF か DKIM に対応せよ
- 逆引きを必ず記載せよ
- spam 率 0.3% 未満にせよ
- 転送は ARC 署名せよ
- TLS (暗号化) 通信せよ
- RFC5322 に準拠せよ**
- @gmail.com を騙るな

Google Sender Guidelines
<https://support.google.com/a/answer/81126>

©Internet Initiative Japan Inc.

メールヘッダの読みかた 最重要ポイント 3点

- (1) 到着順に下から上
- (2) 行頭が空白なら前の行からの続き
- (3) Authentication-Results が送信ドメイン認証の結果

受信者に近い

メールヘッダ
(RFC5822)

(空行でヘッダと本文を区切る)

メール本文

```
Received: from example.com mta3.example.jp  
by mta4.example.jp with ESMTTP id 4AJ0BDme1350 ;  
Received: from example.com mta2.example.jp  
by mta3.example.jp with ESMTTP id 4AJ0BDD51989 7  
Authentication-Results: incoming.example.jp;  
spf=pass smtp.mailfrom=ij-taro@example.jp;  
dkim=pass header.i=@example.jp;  
header.from=ij-taro@example.jp; dmarc=pass  
Received: from mta1.example.jp  
by mta2.example.jp with ESMTTP id 4AJ0BBPK7128
```

差出人に近い

電子メール しくじり先生 実話集

アンチパターンを学んで勘所を掴んでほしい



(問題 1) この SPF レコードのおかしな点を指摘してください

SPF が DKIM に対応せよ

難易度 ★☆☆

```
example.jp.    IN TXT
```

```
"v=spf1 ipv4:192.0.2.0/28  ipv6: 2001:DB8::/124 -all"
```

(実際は一行)

(正解 1) この SPF レコードのおかしな点を指摘してください

SPF レコードの書式が誤っている

難易度 ★☆☆

- 設定したら必ず複数の事業者にメールを送信して確認するとよい

```
example.jp.    IN TXT
"v=spf1 ipv4:192.0.2.0/28 ipv6: 2001:DB8::/124 -all"
"v=spf1 ip4:192.0.2.0/28 ip6:2001:DB8::/124 -all"
(実際は一行)
```

メカニズム(mechanism) は
ip4: ip6: が正しい ("v" は不要)

メカニズムと値の間に
スペースは入れない



RFC7208 Sender Policy Framework (SPF)
<https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc7208>



|(問題 2) この SPF レコードのおかしな点を指摘してください

SPF が DKIM に対応せよ

難易度 ★☆☆

```
example.jp.      IN TXT      "v=spf1 ip4:192.0.2.0/28 -all"  
example.jp.      IN TXT      "v=spf1 include:spf.example.jp -all"
```

(正解 2) この SPF レコードのおかしな点を指摘してください

SPF レコードの書式が誤っている

難易度 ★☆☆

- 宛先の実装によってはエラーになったりならなかったりするので要注意

```
example.jp.    IN TXT    "v=spf1 ip4:192.0.2.0/28 -all"  
example.jp.  IN TXT    "v=spf1 include:spf.example.jp -all"
```

```
example.jp.    IN TXT    "v=spf1 ip4:192.0.2.0/28 include:spf.example.jp -all"
```

**SPF レコードは必ず一行
(2行以上は permerror)**

3.2. Multiple DNS Records
A domain name MUST NOT have multiple records that would cause an authorization check to select more than one record. See Section 4.5 for the selection rules.

If the resultant record set includes no records, check_host() produces the "none" result. If the resultant record set includes more than one record, check_host() produces the "permerror" result.



RFC7208 §3.2 Multiple DNS Records
<https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc7208#section-3.2>

|(問題 3) このメールヘッダのおかしな点を指摘してください

RFC5322 に準拠せよ

難易度 ★★☆☆

```
To: iij-hanako@example.com
Subject: Internet Week 2024
Date: Tue, 26 Nov 2024 10:20:34 +0900
Content-Type: text/plain; charset="iso-2022-jp"
Content-Transfer-Encoding: 7bit
```

(本文省略)

(正解 3) このメールヘッダのおかしな点を指摘してください

From は RFC5322 で必須のヘッダ

難易度 ★★★

- メーラーで作成してから比較すると分かりやすい

From: iij-taro@example.jp

To: iij-hanako@example.com

Subject: Internet Week 2024

Date: Tue, 26 Nov 2024 10:20:30

Content-Type: text/plain; charset=utf-8

Content-Transfer-Encoding: 7bit

(本文省略)

Field	Min number	Max number	Notes
trace	0	unlimited	Block prepended - see 3.6.7
resent-date	0*	unlimited*	One per block, required if other resent fields are present - see 3.6.6
resent-from	0	unlimited*	One per block - see 3.6.6
resent-sender	0*	unlimited*	One per block, MUST occur with multi-address resent-from - see 3.6.6
resent-to	0	unlimited*	One per block - see 3.6.6
resent-cc	0	unlimited*	One per block - see 3.6.6
resent-bcc	0	unlimited*	One per block - see 3.6.6
resent-msg-id	0	unlimited*	One per block - see 3.6.6
orig-date	1	1	
from	1	1	See sender and 3.6.2
sender	0*	1	MUST occur with multi-address from - see 3.6.2
reply-to	0	1	



RFC5322 §3.6 Field Definitions
<https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc5322#section-3.6>

|(問題 4) このメールヘッダのおかしな点を指摘してください

RFC5322 に準拠せよ

難易度 ★★☆☆

```
From: iij-taro@example.jp
To: iij-hanako@example.com
Subject: Internet Week 2024のお知らせ
Date: Tue, 26 Nov 2024 10:23:45 +0900
Content-Type: text/plain; charset="iso-2022-jp"
Content-Transfer-Encoding: 7bit
```

(本文省略)

(正解 4) このメールヘッダのおかしな点を指摘してください

非 ASCII 文字は正しくエンコードする

難易度 ★★★

- メール送信プログラムを自作しているケースでよく見かける

```
From: iij-taro@example.jp
To: iij-hanako@example.jp
Subject: Internet Week 2024
Date: 2024-10-01 15:00:00 +0900
Charset="iso-2022-jp"
```

=?UTF-8?B?44Gu44GK55+144KJ44Gb?=
のお知らせ

3.6.5. Informational Fields

The informational fields are all optional. The "Subject:" and "Comments:" fields are unstructured fields as defined in [section 2.2.1](#), and therefore may contain text or folding white space. The "Keywords:" field contains a comma-separated list of one or more words or quoted-strings.

subject	=	"Subject:" unstructured CRLF
comments	=	"Comments:" unstructured CRLF

2.2.1. Unstructured Header Field Bodies

Some field bodies in this specification are defined simply as "unstructured" (which is specified in [section 3.2.5](#) as any printable US-ASCII characters plus white space characters) with no further restrictions. These are referred to as unstructured field bodies. Semantically, unstructured field bodies are simply to be treated as a single line of characters with no further processing (except for "folding" and "unfolding" as described in [section 2.2.3](#)).



RFC5322 §2.2.1 Unstructured Header Field Bodies
<https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc5322#section-2.2.1>

※ RFC6532 の SMTPUTF8 (SMTP 拡張) に対応している場合は UTF-8 のまま送信できるケースはあるが宛先 MTA の実装依存

(問題 5) このメールのおかしな点を指摘してください

難易度 ★★★

```
From: iij-taro@example.jp
To: iij-hanako@example.com
Subject: Internet Week 2024 =?UTF-8?B?44Gu44GK55+144KJ44Gb?=
Date: Tue, 26 Nov 2024 10:26:11 +0900
Content-Type: multipart/alternative; boundary="koko"
```

--koko

```
Content-Type: text/plain; charset="us-ascii"
```

Here is the mail body.

--koko

```
Content-Type: application/pdf; name="iw2024.pdf"
```

```
Content-Transfer-Encoding: base64
```

```
Content-Disposition: attachment; filename="iw2024.pdf"
```

```
JVBERi0xLjMKMyAwIG9iago8PC9UeXB1I... (省略)
```



(正解 5) このメールのおかしな点を指摘してください

Content-Type の宣言が誤っている、MIME を閉じていない

難易度 ★★★

```
From: iij-taro@example.com
To: iij-hanako@example.com
Subject: Internet Week
Date: Tue, 26 Nov 2024 10:20:11 +0900
Content-Type: multipart/alternative; boundary="koko"
```

multipart/mixed; が正しい
(alternative は HTML メールパートなど
本文と同じ内容を別表示できるものに限る)

```
--koko
Content-Type: text/plain
```

Here is the mail

```
--koko
```

```
Content-Type: application/pdf
Content-Transfer-Encoding: base64
Content-Disposition: attachment; filename="iw2024.pdf"
```

```
JVBERi0xLjM=
```

```
--koko--
```

**改善の余地がある※業務アプリが
送信するメールでたまに見る**

(メーラーで見てもいい感じに修復するため気づきづらい)

MIME は区切り文字のあとに必ず "--" で閉じる

※ RFC2045~2049
Multipurpose Internet
Mail Extensions (MIME)

<https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc2045>

<https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc2046>

<https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc2047>

<https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc2048>

<https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc2049>

バリデーション(検証)方法

電子メール しくじり先生にならないために



SPF レコード検証ツール

■ **yenma** - <https://github.com/iij/yenma>



- IJ が OSS で公開している milter プログラム、./tools 以下に spfeval コマンドが同梱
- メールアドレスと IP アドレスを与えて SPF の評価結果・エラーを確認できる

```
$ ./spfeval iij-taro@example.com 192.0.2.1
iij-taro@example.com 192.0.2.1 pass

$ ./spfeval iij-hanako@example.jp 2001:db8::1
info: over 10 mechanisms with dns look up evaluated: sender=example.jp, domain=example.jp
iij-hanako@example.jp 2001:db8::1 permerror
```

■ **spf-tools** - <https://github.com/spf-tools/spf-tools>

- SPF レコードをルックアップして展開表示できる
- エラーは報告されない

■ **オンラインで確認できるサイトもある**

- https://www.naritai.jp/check_spf.html
- <https://mxtoolbox.com/>
- オンラインツールは入力した情報を Web サイトに渡すことになるので注意

```
$ ./despf.sh example.net
Getting spf.example.net
ip4:192.0.2.2
ip6:2001:db8::/124
```

DKIM 署名検証ツール

■ OpenDKIM - <http://www.opendkim.org/>

- The Trusted Domain Project が OSS で公開している DKIM 署名・検証 milter プログラム
- 署名済みのメールを与えて DKIM の検証結果が確認できる `opendkim-testmsg` が同梱
- 問題なければ何も報告されない

```
$ opendkim-testmsg < sample.eml
$ echo $?
0

$ opendkim-testmsg < sample2.eml
opendkim-testmsg: dkim_eom(): Bad signature
```

■ dkimverify - <https://launchpad.net/dkimpy>

- Python の DKIM 実装
- 署名済みのメールを与えて DKIM の検証結果が確認できる
- Linux ディストリビューションによってはパッケージがある

```
$ dkimverify < sample.eml
signature ok

$ dkimverify --index 2 < sample2.eml
signature verification failed
```

■ オンラインで確認できるサイトもある

- https://www.naritai.jp/notice_check_dmarc.html
- <https://mxtoolbox.com/>
- オンラインツールは入力した情報を Web サイトに渡すことになるので注意

メールそのものの検証

宛先の利用者が使ってそうな複数の MUA (メーラー) で可能な限り確認する

無償製品・OSS



Thunderbird



Claws Mail
(Sylspeed)



Roundcube
(Web メール)



mutt

商用製品

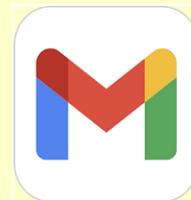


Outlook



Becky!

Web メール



前半パートのまとめ

メールシステムの運用は、送信側の立場と受信側の立場とでマナーや対策が表裏一体

たかがメール
されどメール

送信ドメイン認証で
しっかり守る

■ 正しく届けるためには、まず正しい形で送信

Google Sender Guidelines (5,000通/日以上送信するドメイン)
2023年10月、Google + 米 Yahoo! が足並みを揃えてポリシー強化宣言

DMARC対応せよ
・ドメイン名のなりすましを禁止 (RFC7489 で標準化 (2015年))

List-Unsubscribe 実装せよ
・ワンクリックで購読解除できる仕組み (RFC8058 で標準化 (2017年))

期限は 2024/01/31 (済)

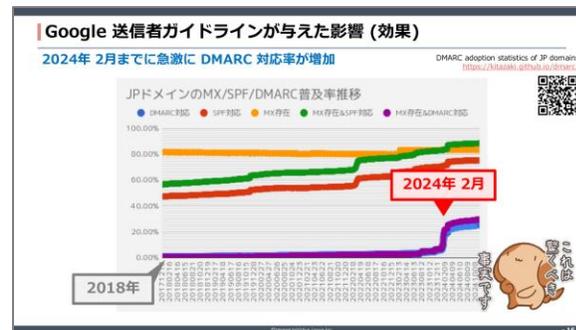
Google 送信者ガイドラインの背景
フィッシングメールとの熾烈な戦いが激化

- Google は毎日**150億通**以上のメールをブロック
- インターネットには時代遅れなシステムが多数あり電子メールの全差出人を認証することができていない
- これが攻撃者に付け込まれるスキを与えてしまう

悪を悪と判定することも大事な側面だが
正しいものを正しいと判定することも重要

利用者の保護

■ 悪に付け入れられるスキを与えない



メール運用管理者に求められる対応 早見表

	SPF か DKIM 対応	逆引き 記載	spam rate <0.3%	転送は ARC 署名	DMARC 対応	TLS 対応	RFC 5322 準拠	@gmail .com 署名	List-Unsubscribe
1 個人でメール設備を運用	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
2 企業でオンプレ設備を保有	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
3 クラウドサービス利用	✓		✓		✓		✓	✓	
4 オンプレ設備でメール送信	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓
5 非 IT 部門で SaaS 利用	✓		✓		✓			✓	✓

Lead Initiative

日本のインターネットは1992年、IIJとともに始まりました。以来、IIJグループはネットワーク社会の基盤をつくり、技術力でその発展を支えてきました。インターネットの未来を想い、新たなイノベーションに挑戦し続けていく。それは、つねに先駆者としてインターネットの可能性を切り拓いてきたIIJの、これからも変わることのない姿勢です。IIJの真ん中のIはイニシアティブ

IIJはいつもはじまりであり、未来です。

Ongoing Innovation

本書には、株式会社インターネットイニシアティブに権利の帰属する秘密情報が含まれています。本書の著作権は、当社に帰属し、日本の著作権法及び国際条約により保護されており、著作権者の事前の書面による許諾がなければ、複製・翻案・公衆送信等できません。IIJ、Internet Initiative Japanは、株式会社インターネットイニシアティブの商標または登録商標です。その他、本書に掲載されている商品名、会社名等は各会社の商号、商標または登録商標です。本文中では™、®マークは表示していません。

©Internet Initiative Japan Inc. All rights reserved. 本サービスの仕様、及び本書に記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。